

郷メモ

先進的教育用ネットワークモデル地域事業 説明会

平成 11 年 2 月 15 日(月)

岐阜県庁 教育委員会室

説明会メモ 及び 質疑応答メモ

1, 今回の説明会の参加校: 12 校 (対象は高等学校と聾学校)

2, 研究テーマについて

- ・研究テーマを説明する前に、「研究の主旨は、インターネットの整備では無く、インターネットをどのように活用するか」という前置きがあった。
- ・県の大きめに設定した研究テーマの範囲内で、高等学校については、基本的には各学校独自でテーマを設定し、実施すること。

3, 参加校について

岐阜市、西濃、東濃の 3 地方を一地域としての扱いで選定された。高等学校や聾学校は、小中学校の参加校に付加という形である。

地域の内定時には、学校名の指定は無かった。決っていたのは以下の 2 つだけである。

- 1 ネットワーク拠点を岐阜市に置くこと
- 2 岐阜市、西濃、東濃を一地域として扱うこと

4, 衛星アンテナについて

T A O (放送・通信機構) が、どの衛星を使うかということを明確にしていないので、アンテナの方向や、アンテナの個数 (1 個? 2 個?) などははっきりしない状況。

5, 中央センターについて,

場所は、東京? 藤沢キャンパス? という噂の状態である。

中央センターには、各 30 地域の拠点センターのミラーサーバーが置かれる。

6, 複合アクセス網について

複合アクセス網とは、DSL、CATV、光、ダイヤルアップ等の様々なアクセスが混在するネットワークのこと。今回の事業を行う郵政省の目的の一つに、この複合アクセス網が機能するかどうか、つまり、様々なアクセス方式で全国の学校が多数接続したとき、機能するかどうかということの研究があると言われている。

D S L...既存のメタル電話回線にモデムを取り付けるだけで最大数メガ b p s のデジタル伝送を行うことができる技術

C A T V...ケーブルテレビの回線を利用して接続

光...光ケーブル回線を利用して接続

ダイヤルアップ...公衆電話回線とモデムを使うなどして接続する方法

岐阜市は拠点センターが有ることも関係し、光、D S L が中心

恵那は既存ネットワークの関係から、上り C A T V、下り衛星となる。

7, 機構研究員について：岐阜市に 1 名を置く。一番重要な仕事は国とのパイプ役である。

8, 今回の説明会は、(H11,1,29 の地域代表者会にて) 小中学校以外の学校への周知分担が「県教育委員会」となったことから実施された。

9, データベース、コンテンツ等の作成は岐阜市で行わざるを得ない。衛星 (ダイヤルアップ) 利用校については、上り回線が基本的に 64Kbps なので、実験・研究の主体は、下りの情報 (拠点センターやインターネット上の情報) を利用して、教育にいかにか活用するかということが主体となろう。

10, 大垣、恵那の小中学校には、既存のネットワークがある。

11, 11 年度 4 月に、各学校より研究テーマを提出。年度末に報告書 (どんな成果が上がったのか) を提出。(12 年度、13 年度も同様に研究テーマと報告書を提出する。)

12, 年 2 回程、推進会議が開かれる。成果や途中経過等の交流会、発表会、指導等が行われる。

13, 提出物 (報告書) 等の流れは下記のようなであろう。

各校 拠点センター or 教育委員会 TAO 取りまとめ 文部省 or 郵政省

14, 岐阜県の拠点センターについて

平成 10 年度をもって、他校に吸収合併され、11 年度からは事実上廃校となる「岐阜市立芥見南小学校の校舎」が岐阜の拠点センターとして機器等が置かれる。

15, 予算の動きについて

予算的には、H11 年度中に H10 年度補正予算 300 億を使ってしまう。H13 年度の年度末までの期間に発生するその他の経費については TAO の負担の予定。

16, 平成 14 年 3 月 31 日をもって事業の実施期間が終了するが、成果の上った地域については、それ以降も国からの予算措置があるかもしれないとの声もある。

17, ダイヤルアップについて

ダイヤルアップは NTT の OCN を使うことになるだろう。NTT のタイムプラスを契約すると、3 分 10 円が 5 分 10 円となるので、ダイヤルアップでの接続で参加する学校は、是非契約して欲しい。

18, (様式 1 : 総括表)「先進的教育用ネットワークモデル地域事業実施計画調書」の「7 - (4) 上記研究に必要な設備等」は岐阜市の教育センターや、岐阜市の小中学校に置かれる機器等が書かれているので、参考までに一読されたし。

19, 岐阜ネットワークエリア推進会議構成メンバーの(依頼中)の部分は、岐阜大学の工学部、教育学部に数名交渉中とのこと。

20, 接続校の一覧表について

高校関係では、今の所変更無し。小中学校については変更のあったところがある。(しかし、まだ表の訂正はされていない。)

今後も接続校については変更の可能性があるので、外部に出さないものとして扱って欲しいとのこと。

21, マルチメディア講演会について

具体的に衛星回線等のイメージが掴み辛い方は、是非、3 月 3 日の講演会に参加して欲しいとのこと。

22, 研究期間終了後の機器の扱い等について

今回設置する機器や環境を、研究機関終了後も継続することが望ましい。

各校の予算状況によっては、研究期間以前の段階に戻さざるを得ない学校もあるかもしれない。

衛星回線使用料については、現在、NTT で 1 クライアント 4,000 円である。今後の値下がり期待される。

アンテナ、ルーター等の機器については、研究期間中は貸与という扱い。期間終了後は、各校へ譲渡という扱いになるのではないかと思われる。(過去の通例ではそういうことが多かった。)